

マイゾウ・メーノス（まあーまあー）の世界 ブラジル

ブラジルを訪問する人、ブラジルに関心のある人にお勧めする！！

梅津 久 記

## 第42話ーペシーンシャで楽しい買い物

また、値段の決まっていない、小さな取引は本当に“マイゾウ・メーノスの世界”である。ここマナウスには有名な観光地、“エンコーントロ・ダス・アグアス(アマゾン河の地理名称の発祥である、ネグロ河とソレモンエス河の合流点)”があるが、時間を充分と取れない日本からの出張者が唯一簡単に見に行ける方法としては、工業団地に近い“ポールト・ディ・セアザ(セアザー青果市場ーの港)”から、船外機を取り付けたアルミ製のボートで往復1時間もあれば充分に見に行ける方法があるが、この値段をボートの持ち主とネゴするのが難しい、これと見てすぐに日本人とわかるお客さんには遠くに止めた車の中で待ってもらって、一人歩いて行って交渉に入る、彼等はまず通常の倍の値段を言って来る、それを慌てずゆっくりと半額までに持って行く。これは、値段の決まっていないネゴでは常に伴う、まず相手は倍の値段を言って来ると覚悟して交渉しなければならない。我々日本人は良心がじゃまするのか、交渉がへたなのか相手の言うようになってしまうのが普通である。これだから“日本人は金になる”と何時も見られてしまう。普通の市場や青空市場でお土産を買う時も、“ペシーンシャ(値切り)”と呼ばれるこの方法でぜひ安く購入してください、半額とないかなくとも100のものであれば80位には値切れると思います、そうすると買い物が断然楽しくなってきます、ただし余計なものまで買ってお金を使い過ぎると折角の“ペシーンシャ”も高がついてしまいます。

ー次号第 43 話に続くー